

次の日本語を英語に
しなさい。

自由英作文の達人

はじめに

あなたは左のような問題を見ただけで、すぐにあきらめていませんか。英作文の問題に出くわすと反射的に問題をとばしてしまう人もいるかもしれません。しかし、よく考えてみて下さい。あなたはこれまでに英作文の勉強にどれだけの時間を費やしましたか。「英作文が苦手」のではなく、「英作文を本格的に勉強したことがない」だけなのではありませんか。

読んで字のごとく、英作文というのは、あなた自身の手によって英文を作ることです。難しく聞こえますが、実際に使う単語や構文のほとんどは1, 2年で学ぶものです。1, 2年で習った単語や構文を使えば英作文ができるのですから、「それならできる!」と思いませんか。

今後、外国との交流が増えるにつれ、ますます自分の意見や考えを英語にして表現することが求められます。またそれを反映して、高校入試においても英作文の比重が高まっています。

皆さんがこの教材を学ぶことで、英作文の楽しさを知り、英作文が上達することを願っています。

本書の3大特色

1. 英作文に必要な力を段階をふまえてマスターできます。

本書の基礎編ではまず、英作文に必須の構文や文法事項を復習します。ここをやりとげれば、英作文は決して難しくないとことがわかるでしょう。

次の実践編では「質問に答える」や「絵による作文」などの具体的なテーマに沿って学習します。英作文が出題されるパターンはある程度決まっていますから、ポイントさえ押さえれば英作文の上達は目の前です。

2. 英作文をやさしく書くコツをマスターできます。

入試で求められる英作文では、中3で習う構文(間接疑問文、関係代名詞や分詞の形容詞的用法など)のほとんどは必要ありません。求められているのは、やさしい英語を“間違いなく”書くことです。本書では、難しそうな問題をいかにやさしく、そして間違いなく書くかという方法をたくさん載せています。その方法をマスターするために、ぜひ本のすみずみまで目を通して下さい。

3. 別冊【ヒント集】を使い、自力で英作文に取り組む力を養います。

「頭ではわかっているのだが、なかなかうまく書けない」という人もいるかもしれません。そんなときは別冊【ヒント集】を使いましょう。これには、英作文に必要な〈単語〉や〈構文〉、またときには英作文が上手に書ける〈テクニック〉がそれぞれ問題ごとに載っています。この【ヒント集】を必要に応じて使うことで、より簡単に英文が書けるようになります。

SECTION 1 基礎編

- ① 基本動詞をマスターする 3
- ② 英語の語順をマスターする 5
- ③ 基本構文をマスターする 7
- ④ いろいろな慣用表現 15

SECTION 2 実践編 ①

- ① こんなときどう言うか 18
- ② 質問に答える作文 20
- ③ 文を補充する作文 23
- ④ 日本語を英語に 28

SECTION 3 実践編 ②

- ① 資料を使う作文 31
- ② 絵による作文 41
- ③ テーマが与えられた作文 49

SECTION 1 基礎編

① 基本動詞をマスターする

英文を理解したり、書いたりするときに「核」になるのは「動詞」です。それは、文の中で一番大切な「主語の動作や状態を表す言葉」が動詞だからです。また、動詞を変化させることで動作の状態やその状態がいつ起きたのか、などを表すこともできます。

このように、英作文の上達には、動詞を自由に使いこなせることが第1条件です。ここでは、高校入試の英作文において、特に使いみちのある動詞を学びます。

ポイント

1

■動詞の種類と特徴

1. 英語の動詞には次の2種類があります。

① **be 動詞** …主語の状態などを表します。

(is, am, are, was, were, be, been)

② **一般動詞** …主語の動作を表します。

(read, like, speak, have など)

2. 英語の動詞(特にここで扱う基本動詞)は日本語と違い、1つの動詞がいろいろな意味や用法を持ちます。

【例】take … (手に)取る, 受け取る, (乗り物に)乗る, など。

演習 1

次の空所にあてはまる動詞を書きなさい。

- 私はロック音楽が好きです。
I () rock music.
- 私は新しい自転車が欲しい。
I () a new bike.
- あなたは日本語を話すことができますか。
Can you () Japanese ?
- 私たちはこの教室を毎日使います。
We () this classroom every day.
- 私は英語で手紙を書くことができます。
I can () letters in English.
- 私を手伝ってください。
Please () me.
- 私にあなたの電話番号を教えてください。
Please () me your phone number.
- ブラウン先生はカナダの出身です。
Mr. Brown () from Canada.

ポイント

2

■動詞の変化

動詞は主語や時制によって主に、次のように変化します。

1. **現在形**…日常の習慣などを表します。

注意▶主語が3人称単数の場合は動詞に-(e)sがつく。

2. **過去形**…過去に起こった出来事や過去の状態を表します。

注意▶語尾に-(e)dをつけて過去形をつくる規則動詞と、特有の過去形を持つ不規則動詞がある。

3. **進行形**…現在や過去の動作の進行を表します。

注意▶<be 動詞+動詞のing形>の形をとる。

演習 2

次の()内の動詞を適当な形にし、全文を書き直しなさい。

1. I was (study) math in my room then.

2. Our school (have) a nice library.

3. I (buy) a present for my mother yesterday.

4. My father (clean) his car twice a week.

5. What were you (do) at that time ?

演習 3

次の文の誤りを正して、全文を書き直しなさい。

1. 私は昨夜、弟の宿題を手伝いました。
I was help my brother with his homework last night.

2. 健と僕はテニス部員です。
Ken and I am members of the tennis club.

3. あなたはこの前の日曜日どこに行きましたか。
Where do you went last Sunday ?

4. 私はたくさんのCDを持っています。
I am having many CDs.
